

関係者各位

平成 30 年 1 月 29 日
デジタルコミック協議会
<http://www.digital-comic.jp/>

第 6 回マンガ翻訳コンテスト授賞式・シンポジウム開催のご案内

マンガ翻訳の優秀者をプロの翻訳家を始めとするオフィシャル審査員による最終審査で決定するマンガ翻訳コンテスト、『Manga Translation Battle vol.6 』。

マンガ翻訳家志望者の活躍の場を増やし、世界のより広い層に質の高い日本のマンガ文化を発信するプラットフォームとなることを目指して、今回で 6 回目の開催となります。今回の大賞受賞者を迎える授賞式を行い、シンポジウムでは、アメリカ、フランスからもパネラーを招き、日本の"マンガ"を海外、特に欧米で広めていく際の課題や、今後どう普及すべきかなどについて、各社の取り組み事例を紹介してもらいつつ、登壇者の方々に語って頂きます。ご多忙中とは存じますが、ぜひともお越しいただけますようお願い申し上げます。

「Manga Translation Battle vol.6」

翻訳コンテスト公式ページ：https://myanimelist.net/manga_translation_battle

主催：文化庁、デジタルコミック協議会

コンテスト運営協力：MANGAPOLO（株式会社 電通）／MyAnimeList（株式会社ディー・エヌ・エー）

※本コンテストは平成 29 年度文化庁メディア芸術連携促進事業における連携共同事業として採択されています。

メディア芸術関連の情報発信サイト（メディア芸術カレントコンテンツ）：<http://mediag.jp>

<翻訳コンテスト授賞式・シンポジウム>

日時：2018 年 2 月 14 日（水）18：00～20：30（開場 17:30）

場所：秋葉原 UDX シアター

イベント詳細及び参加事前申し込み

https://myanimelist.net/manga_translation_battle/ceremony/application

■プログラム

●翻訳コンテスト授賞式

司会：新井里美（声優/ナレーター）

プレゼンター：

Debora Aoki マンガジャーナリスト
Matt Alt マンガ翻訳者/株式会社アルトジャパン
William Flanagan マンガ翻訳者/編集者
木村智子 マンガ翻訳者/フェロー・アカデミー講師

●シンポジウム

『欧米における"マンガ"とは。編集者が語る海外展開のこれまでとこれから』
世界中で活躍するマンガ出版関係者・編集者。今回は、アメリカ、そしてフランスから、
長年"マンガ"に携わってきたキーパーソンをパネラーとして招き、日本のマンガを海外で展
開する上での今までの苦労やエピソードを語ってもらいます。また日本側からも"マンガ"を
海外に広めるために今までにしてきたこと、現在行っていることなどを語ってもらい、
それぞれの立場で今後の"マンガ"海外展開のあり方をディスカッションしてもらいます。

パネラー：

- ・ Gregoire Hellot (KUROKAWA)
- ・ Michael Gombos (Dark Horse Comics)
- ・ 瓶子 吉久 (株式会社集英社)

モデレーター：吉羽 治 (株式会社講談社)

■取材及びイベントに関するお問い合わせ

メール：info@mangapolo.jp

電話：03-6216-8316(平日 10:00～17:00)

デジタルコミック協議会 (事務局:電通内 担当:浅井、照井)

□登壇者プロフィール

(パネラー)

Gregoire Hellot (グレゴアール エロ)

略歴：

1975年3月生まれ。フランス、パリ在住。

1991年フランス唯一のゲーム誌「JOYSTICK」にアルバイトとして入社。フランスにおける日本ゲーム業界専門家となり、日本のポップカルチャー解説者としてテレビやラジオなどで活躍。

1998年からファミ通グループ発行のいくつかの雑誌にゲームを含む日本の文化が欧米でどのように受け入れられているかを紹介するコラムを連載。2004年、フランス最強の出版社

「Pocket」にヘッドハンティングされ、「Kurokawa」という漫画部門を立て、ライセンスを担当。『鋼の錬金術師』『聖闘士星矢 THE LOST CANVAS 冥王神話』『ポケットモンスタースペシャル』など数々のミリオンセラー作品を手掛け、最近ではフランス漫画界で100万部突破最速記録の『ワンパンマン』の実績も。現在もフランスの各メディアで日本のポップカルチャー解説者として活躍し、日本のゲーム会社のアテンドやコンサルティングもしている。

Michael Gombos (マイケル ガンボス)

略歴：

1976年9月生まれ。カリフォルニア州出身。オレゴン州在住。

2004年にライセンス部門アシスタントとしてダークホース社に入社。当初3社ほどであった日本の契約企業を50社にまで増やす。現在、世界中の出版社とのライセンス取得を担当し、日本のみならずヨーロッパ各社との契約も増やしている。「CLAMP オムニバス編」「吸血鬼ハンターD」「ベルセルク」「ゼルダの伝説ハイラルヒストリア」や天野喜孝先生の画集等、数々のダークホース社のベストセラー作品を手掛け、「GANTZ」「アイアムアヒーロー」「初音ミク・鏡音リン」等も海外へ届けている。これまで英語訳作品1000点以上を契約取得。国際出版事業部を統括している。

瓶子 吉久 (へいしよしひさ)

略歴：

1991年株式会社集英社に入社。「週刊少年ジャンプ編集部」に配属、「遊☆戯☆王」を始め、マンガ編集者として数々の作家・作品を手掛ける。「ジャンプSQ.」副編集長を経て、「週刊少年ジャンプ」編集長を務める。2017年6月より第3編集部部長。「週刊少年ジャンプ」、「ジャンプSQ.」、「Vジャンプ」、「ジャンプ+」、及び「キャラクタービジネス室」を統括している。

(モデレータ)

吉羽 治 (よしばおさむ)

略歴：

1981年株式会社講談社に入社。「週刊少女フレンド」編集部、国際室、映像・ソフト制作部等を経て、2007年2月よりデジタル事業局長、その後ライツ事業局長、デジタル・国際ビジネス局長などを歴任。現在はライツ・メディアビジネス局長を務める。国際室ではコミックの海外版権に従事、映像・ソフト制作部で公式モバイルサイトの立ち上げ、デジタル事業局で電子書籍配信事業の立ち上げを行う。現在は、アニメや実写映画のプロデュースに携わるとともに、海外事業全般、デジタルメディアの開発等多岐な分野を担当している。

以上